

聖霊降臨後第12主日(特定15)

特禱

主よ、どうか絶えることのないあわれみをもつて主の教会を守って下さい。人間ははかないものであり、あなたに頼らなければ倒れてしまうほかありません。み助けによって、害のあるすべてのものからわたしたちを守り、益となるものを与えて常に救いの道に導いて下さい。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

《旧約聖書》

イザヤ書

第56章 1節、(2節から5節)

6節から7節

1 主はこう言われる。

正義を守り、恵みの業を行え。

わたしの救いが実現し

わたしの恵みの業が現れるのは間近い。

2 いかにかに幸いなことか、このように行う人それを固く守る人の子は。

安息日を守り、それを汚すことのない人悪事に手をつけないように

自戒する人は。

3 主のもとに集って来た異邦人は言うな主は御自分の民とわたしを

区別される、と。

宦官も、言うな

見よ、わたしは枯れ木にすぎない、と。

4 なぜなら、主はこう言われる

宦官が、わたしの安息日を常に守り

わたしの望むことを選び

わたしの契約を固く守るなら

5 わたしは彼らのために、とこしえの名を

与え息子、娘を持つにまさる

記念の名を

わたしの家、わたしの城壁に刻む。

その名は決して消し去られる

ことがない。

6 また、主のもとに集って来た異邦人が

主に仕え、主の名を愛し、その僕となり

安息日を守り、それを汚すことなく

わたしの契約を固く守るなら

7 わたしは彼らを聖なるわたしの山に導き

わたしの祈りの家の喜びの祝いに

連なることを許す。

彼らが焼き尽くす献げ物といけにえを

ささげるなら

わたしの祭壇で、わたしはそれを受け入れる。

わたしの家は、すべての民の祈りの家と

呼ばれる。

ローマの信徒への手紙

第11章 13節から15節、

29節から32節

13 では、あなたがた異邦人に言います。わたし

は異邦人のための使徒であるので、自分の務め

を光栄に思います。14 何とかして自分の同胞に

ねたみを起こさせ、その幾人かでも救いたいの

です。15 もし彼らの捨てられることが、世界の

和解となるならば、彼らが受け入れられること

は、死者の中からの命でなくて何でしょう。

29 神の賜物と招きとは取り消されないものな

のです。30 あなたがたは、かつて神に不従順

でしたが、今は彼らの不従順によって憐れみを

受けています。

31 それと同じように、彼らも、今はあなたがた

が受けた憐れみによって不従順になっています

すが、それは、彼ら自身も今憐れみを受けるた

めなのです。32 神はすべての人を不従順の

状態に閉じ込められました。それは、すべて

の人を憐れむためだったのです。

《福音書》

マタイによる福音書

第15章 21節から28節

21 イエスはそこをたち、ティルスとシドンの地方に行かれた。22 すると、この地に生まれたカナンの女が出て来て、「主よ、ダビデの子よ、わたしを憐れんでください。娘が悪霊にひどく苦しめられています」と叫んだ。

23 しかし、イエスは何もお答えにならなかった。そこで、弟子たちが近寄って来て願った。「この女を追い払ってください。叫びながらついて来ますので。」24 イエスは、「わたしは、イスラエルの家の失われた羊のところに行か遣わされていない」とお答えになった。25 しかし、女は来て、イエスの前にひれ伏し、「主よ、どうかお助けください」と言った。26 イエスが、「子供たちのパンを取って小犬にやってはいけ

ない」とお答えになると、27 女は言った。「主よ、ごもつともです。しかし、小犬も主人の食卓から落ちるパン屑はいただくのです。」28 そこで、イエスはお答えになった。「婦人よ、あなたの信仰は立派だ。あなたの願いどおりになるように。」そのとき、娘の病気はいやされた。

「詩編」については週報をご覧ください。

2020年8月16日

信徒作成

詩編第67編 1節-7節 (全節) 祈禱書765頁

皆様は太字の節を唱えてください。 **II の後の言葉は、一呼吸おいてからよみましょう。**

1. 神よ、わたしたちを恵み祝し **II** み顔の光を照らしてください

2. あなたの道が世界に知られ **II** 救いがすべての国に知られるように

3. 神よ、諸国の民があなたをたたえ **II** すべての民があなたをたたえるように

4. すべての国は喜び歌え **II** あなたはみ民を正しく審き、地の諸国の民を導かれる

5. 神よ、諸国の民があなたをたたえ **II** すべての民があなたをたたえるように

6. 地は豊かに実り **II** 神はわたしたちを祝福された

7. 神よ、わたしたちを祝福し **II** 地の果てに至るまで神を畏れさせてください